金属の重りや揺れに耐えるつまようじタワーを見守る参加者たち



つまようじタワー 耐震競う

熊本 県内外の高校生41チーム

建築への関心を高めてもらおうと、熊本市の崇城大で25日、高校生を対象にした「つまようじタワー耐震コンテスト」が開かれた。県内外の21校から41チームが参加し、熊本学園大付属高（熊本市）が優勝した。

つまようじと接着剤だけを使って重さ90㌘以下のタワーを作って競う大会で、コロナ禍の時期を除き2011年から同大が毎年開催している。この日は、県内だけでなく広島、鹿児島県などからも多くの生徒が集まり、自由な発想で組み上げたタワーを持ち寄った。

要項の基準を満たしているかどうかを確認した後、生徒たちはタワーに載せる金属製の重りを増やしていったり、同大の装置で揺れを与えたりして耐震性能を競っていた。